

平成26年

2月号



1月25日発行

特定非営利活動法人 ワーカーズコープ

森下ふれあいセンターだより
(森下分館)

住所: 江東区森下5-11-1 電話番号: 5624-6030

開館時間: 午前9時～午後5時 休館日: 第2・4日曜日

ホームページ: <http://kotoroufuku.web.fc2.com/>

不定期連載「茶のみばなし」

●深川生まれの映画監督 (後篇)

先月号のこの欄で深川出身の映画監督・井上金太郎 (明治34年生まれ) をご紹介しました。今回はその後篇です。

昭和4 (1929) 年、井上はマキノプロダクションから片岡千恵蔵プロダクションを経て、大手の映画会社であり、作品の多くを発表した松竹キネマ株式会社の時代劇製作部門・京都撮影所に入社しました。この間同じ松竹で現代劇を製作していた蒲田撮影所 (のち大船撮影所) の雄・清水宏、小津安二郎両監督と相知り、監督仲間から「天才」と言われた清水からは映画作法について大いに影響を受けたと言われています。戦争が本格化する以前の昭和10年代初期頃までが作家としての全盛期で、戦時中は徐々に作品数が減っていきました。軍国主義の賛美や戦争の礼賛は井上の作風 (性格も誠実で穏和だったと言われる) とともに京都撮影所の雰囲気とも合致していなかったのが主な理由のようです。

戦後の監督作品は松竹での2作品と昭和24年に東横映画へ移って監督した最後の作品の3作品のみ、その後は体調を崩し、昭和29 (1954) 年1月29日、病のため52年の生涯を閉じました。晩年、活躍の機会に恵まなかったため、時代の経過とともにその名を知る人は少なくなりました。

現存している作品は筆者が知る限りでは、昭和10年代に流行したジャンルである芸道物の2作品のみ。そのうちの1作、江戸時代後期の長唄の芸人の精進と恋とを描いた「月夜鴉 (つきよがらす)」 (昭和14年・川口松太郎原作、飯塚敏子・高田浩吉主演) は、当センターの映画同好会「シネマ倶楽部」で鑑賞の機会を持つことができました。もう1作の「すみだ川」 (昭和17年・川口松太郎原作、川崎弘子主演、藤野秀夫・上原謙共演) は、明治初期の東京を舞台に、箏曲の芸人であり母となった女性の母性愛と生き方をテーマにした作品。ヒロインのはかなげな風情とやさしく芯の強い高潔な人格、登場する人びとの思いやりや奥床しく優雅な起居振舞が見事に表現されたもはや再現しがたい美しさを持った映画です。現在のところ、映画としての知名度はあまりありませんが、これからの時代こそ長く大勢の人に鑑賞され、見た人の生きる力となりうる名作です。完 (SH記)

森下ふれあいセンター 2月の予定

健…健康相談 1,3水曜 1:00~4:00 ●…事前申込が必要な行事など
印がないものは受講生確定済みの為、受講生以外の参加は出来ません。

日	曜	午 前	時間	午 後	時間	健	
1	土			● シネマ倶楽部	1:30		
2	日						
3	月						
4	火						
5	水					健	
6	木						
7	金			悠々英会話	2:00		
8	土						
9	日	休 館 日					
10	月						
11	火						
12	水						
13	木						
14	金			日本文学	2:00		
15	土			● シネマ倶楽部	1:30		
16	日						
17	月						
18	火						
19	水					健	
20	木						
21	金			悠々英会話	2:00		
22	土						
23	日	休 館 日					
24	月						
25	火			水墨画	2:00		
26	水						
27	木						
28	金			日本文学	2:00		

日程の変更や行事の追加などがある場合がございますので、
予めご了承下さい